

令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科：保健体育科

Research ⇒ 現状分析・課題把握

- 1年生・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒
- ・集団としての意識は高く、リーダーを中心として、クラスを越えて助け合える学年である。
 - ・授業時もリーダーを中心に挙手や発言も活発で学習意欲は高い。
 - ・運動能力的にも運動の経験を増やすことでいろいろな面での伸長が期待される。
- 2年生・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒
- ・運動能力的には中程度の生徒が多く、リズムカルな動きが苦手であったり、柔軟性が低かったりとその中でも開きがある。
 - ・運動経験がまだ少ないが、取り組む姿勢が前向きになってきている生徒が増えている。
- 3年生・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒
- ・男女共習による学習が効果的な集団である。
 - ・会話をしながら協力して活動する中で、自分たちの課題についての「気づき」を見いだせる場面も多い集団である。

Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

《Ⅰ 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』》

- 1年生・・基礎体力の向上や運動に対する興味・関心を高めると共に、けがの防止や自分の体力について理解させ、基礎体力の向上のため、筋力トレーニング、ストレッチなどを取り入れる。また、体力向上の観点から持久力を上げるためにタイムトライアルの取組を進めている。
- 2年生・・昨年から持久力を上げるために行っているタイムトライアルの取組を継続する。そして、単元別での補助的・補強的な運動を取り入れ、体力の向上を促すと共に、ワークシートを活用し、グループ活動などを取り入れながら、自己の課題解決や練習方法について考える時間を設ける。
- 3年生・・単元別での補助的・補強的な運動を取り入れ、体力の向上を促すと共に、ワークシートを活用し、グループ活動などを取り入れながら、自己の課題解決や練習方法について考える時間を設ける。

《Ⅱ 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成》

- 1年生・・ICT機器の活用を行い、動画を見せることによって、正しい動きや、無駄のない安全な動きをイメージさせていく。それを基に学習カードを用いたり話し合い活動を行い、自己の課題を認識して、課題解決へと導いていく。
- 2年生・・ICT機器の活用を行い、毎時間の学習のめあてから生徒個人の課題を認識して学習を進める。さらに、ペアやグループによる学習活動を加えることにより、生徒自身の考えや動きのポイントを伝えられるようにする。
- 3年生・・1・2年生で学習してきたものをベースにして、チームやその集団の、あるいは生徒個人の作戦や表現を展開できるように促す。

《Ⅲ『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着》

- 1年生・・話し合い活動を通じて、積極的に活動する雰囲気をつくり、少しでも生徒に出来ることを増やして達成感をもたせていく。
- 2年生・・話し合い活動を基に、活動をする場面を作りながら、互いを認め協力して高め合える環境をつくる。
- 3年生・・話し合い活動を基に、活動をする場面を作りながら、互いを認め協力して高め合える環境をつくる。さらに、自他を評価し合い、運動する喜びを味わいながら、生涯スポーツへとつなげていく。